

# アラブ首長国連邦の 対イラン経済関係と今後の展望

独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)  
アジア経済研究所 地域研究センター  
中東研究グループ研究員 齋藤 純  
Jun\_Saito@ide.go.jp

# 本報告の目的

- アラブ首長国連邦(以下、UAE)を対象に、イランとの経済関係の変化の状況。他の湾岸アラブ諸国との比較。
- 企業部門はどのように対応しつつあるか。
- 「開発金融」の視点から解説。

# 本日の報告(目次)

1. はじめに:現代UAE-イラン経済関係の素地
2. UAE-イラン経済関係を見るための3つの視点
  - ①貿易関係
  - ②直接投資動向
  - ③労働者送金
3. UAE企業部門の対応
  - 湾岸アラブ諸国企業を中心とした国際資金移動
  - UAE企業の対イランビジネス事例
4. おわりに:考察と今後の展望

# 1. はじめに：現代UAE-イラン経済関係の素地

## UAEとイランの歴史的経済関係

- 18-19世紀 インド商品の湾岸地域(トゥルーシャル諸国)への供給は、バンダル・レンゲ(Linja)に依存。
- 1870年代から、イラン政府(ガージャール朝)による南下政策と課税から逃れ、アラブ人(カワシム部族)、ペルシャ商人がドバイ、シャルジャなどに移住→ドバイに域内交易ハブが移動(Al-Fahim[2008])。
- 19世紀末以降、ペルシャ湾貿易の活況を背景にイラン南部で複数のペルシャ湾海運会社が設立(水田[2006])。
- Zayed bin Khalifa首長期(1840–1909)に、アブダビからペルシャ湾岸へ真珠、ナツメヤシ、干魚を輸出、綿織物、米、スパイスを輸入(Al-Blooshi[2013])。
- 古くからペルシャ湾を縦断してペルシャ商人とアラブ商人の行き来。多くのペルシャ商人家族がドバイ、シャルジャを中心に移住。

# UAEにおけるイラン人コミュニティ

国籍	推計人口 (人)	比率 (%)	データ (年)
インド	260万	27.15	2014
パキスタン	120万	12.53	2014
UAE	108万	11.32	2015
バングラデシュ	70万	7.31	2013
フィリピン	53万	5.49	2014
イラン	40-50万	4.18-5.22	NA
...			
日本	0.26万	0.03	2015

(出所) 2015/4 BQ magazine。

- 推計(2015/4 BQ magazine)によると、在UAEのイラン人は40-50万人で全人口の4.18-5.22%。World Bankデータによると、2013年で41.2万人。
- 1957年 ドバイにイラン人学校設立。
- 1970年 イラニアン病院(ドバイ)設立。
- 1994年 イラン・ビジネス協議会設立。
- Galadariグループなどイラン系企業がドバイを中心に活動。



# 湾岸アラブ諸国とイラン経済比較(2013年)

■2013年時点ではUAEとイランの経済規模が接近。2012-13年にイランのGDPが減少。

	イラン	UAE	サウジアラビア	クウェート	バハレーン	カタル	オマーン
名目GDP (10億ドル)	380.3*	387.2	744.3	175.8	32.9	201.9	77.0
名目GDP/人 (ドル)	4,941	42,875	24,816	45,202	26,701	98,710	21,424
インフレ率 (%)	34.7	1.1	3.5	2.7	3.3	3.1	0.3
投資 (対GDP、%)	32.1	23.2	26.2	14.1	17.0	NA	28.0
貯蓄 (対GDP、%)	39.1	41.6	44.4	56.6	24.7	59.5	34.6
失業率 (%)	10.4	NA	5.6	2.1	4.4	NA	NA
人口 (100万人)	77.8	9.0	30.0	3.9	1.2	2.0	3.6
経常収支 (対GDP、%)	3.8	18.4	18.2	41.2	7.8	30.9	6.6

(注)イラン中央銀行の発表によると、2013年の名目GDPは9,343兆リアル(年平均レート換算で4,329億ドル)。

政府統計と国際機関統計に違いがあることに留意が必要である。

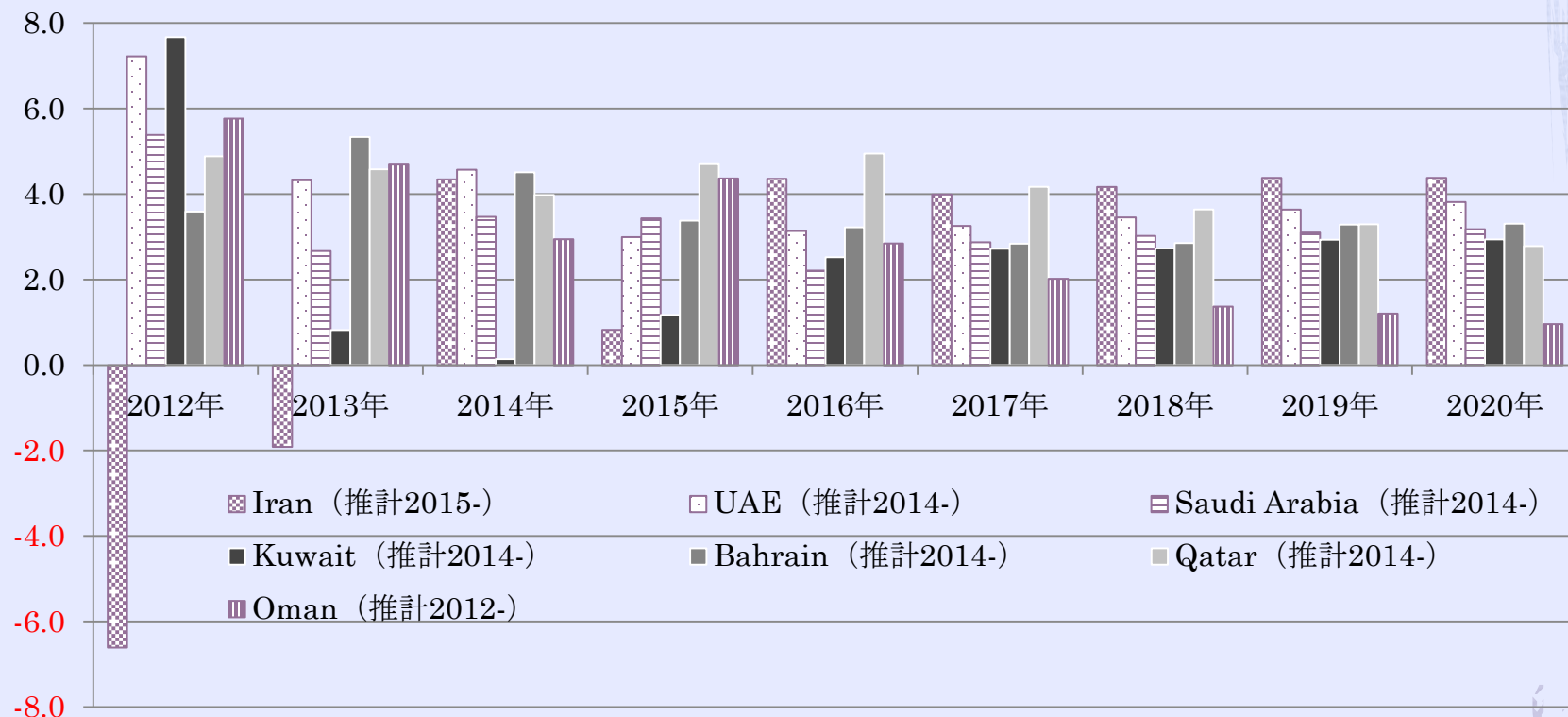
(出所)IMF, World Economic Outlook Database より報告者作成。

# GCCとイランの経済見通し

■石油価格が安定化する中で、楽観的なイランとUAE経済の見通し？

■2020年のGDP成長率予測は、イラン4.4%、UAE3.8%。

名目GDP成長率予測値(2012-2020年、単位:%)



(出所) IMF, World Economic Outlook Database より報告者作成。

## 2. UAE-イラン経済関係を見るための3つの視点

### ①UAEとイランの貿易関係

#### UAEの輸出相手国と輸出額(FOBベース)の推移(2000-14年)

(単位:100万ドル)

	2000年		2004年		2008年		2012年		2013年		2014年	
順位	輸出先	輸出額	輸出先	輸出額	輸出先	輸出額	輸出先	輸出額	輸出先	輸出額	輸出先	輸出額
1	日本	13,468	日本	16,658	日本	42,512	日本	39,992	日本	38,643	日本	37,937
2	韓国	4,275	韓国	6,627	インド	22,254	インド	34,780	インド	30,195	イラン	29,262
3	タイ	1,605	イラン	4,978	韓国	17,499	イラン	27,970	イラン	27,711	インド	24,738
4	シンガポール	1,369	インド	3,592	イラン	13,420	タイ	14,321	韓国	16,475	韓国	14,722
5	オマーン	1,350	タイ	3,374	タイ	10,146	シンガポール	14,243	タイ	15,788	中国	14,146
6	イラン	1,049	オマーン	2,535	シンガポール	5,736	韓国	13,741	シンガポール	15,035	シンガポール	13,997
7	パキスタン	1,036	シンガポール	1,688	オマーン	5,668	中国	9,835	中国	11,568	タイ	11,567
8	インド	980	パキスタン	1,611	パキスタン	4,748	オマーン	6,576	オマーン	9,248	オマーン	8,650
9	米国	906	英国	1,426	中国	4,206	パキスタン	5,714	パキスタン	5,745	パキスタン	5,915
10	フィリピン	797	ベルギー	1,370	台湾	4,192	台湾	4,213	トルコ	4,895	台湾	4,995
	その他	8,499	その他	16,253	その他	38,140	その他	53,160	その他	57,111	その他	55,568
	合計	35,335		60,113		168,520		224,546		232,414		221,496

(注)本表の輸出額は、商品輸出のみを対象としている。

(出所)IMF, Direction of Trade by Country より報告者作成。



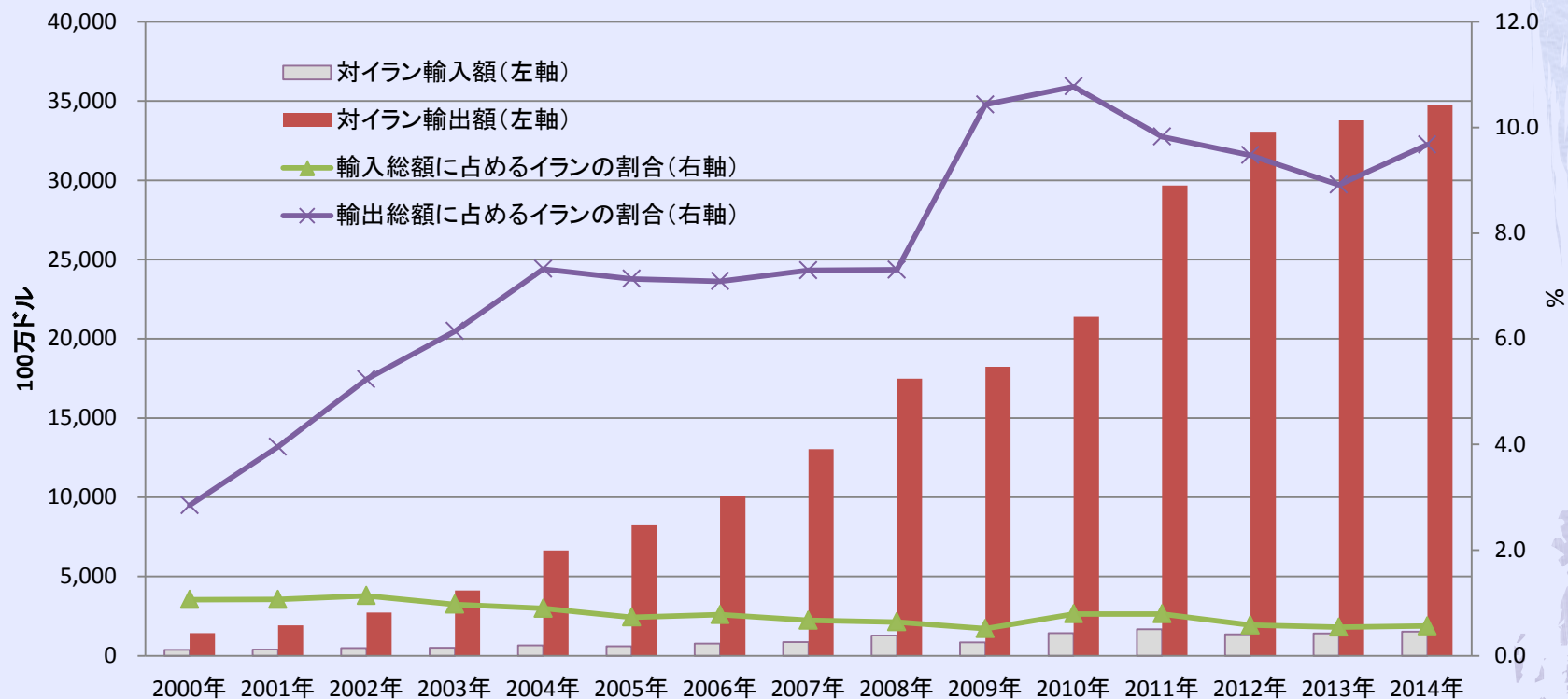
## 2. UAE-イラン経済関係を見るための3つの視点

### ①UAEの対イラン貿易関係(2000-14年)

■2000年以降、UAEのイラン向け輸出が増加。2014年には輸出総額の9.7%まで拡大。  
自動車、電気製品、ガソリンなどを輸出。再輸出先としても重要。

■イランからの輸入は、ほぼ横ばい。食品、建築資材、石油化学製品、カーペット、ピスタチオ、陶器、農産物など。

UAEの対イラン貿易額の推移(2000-14年)



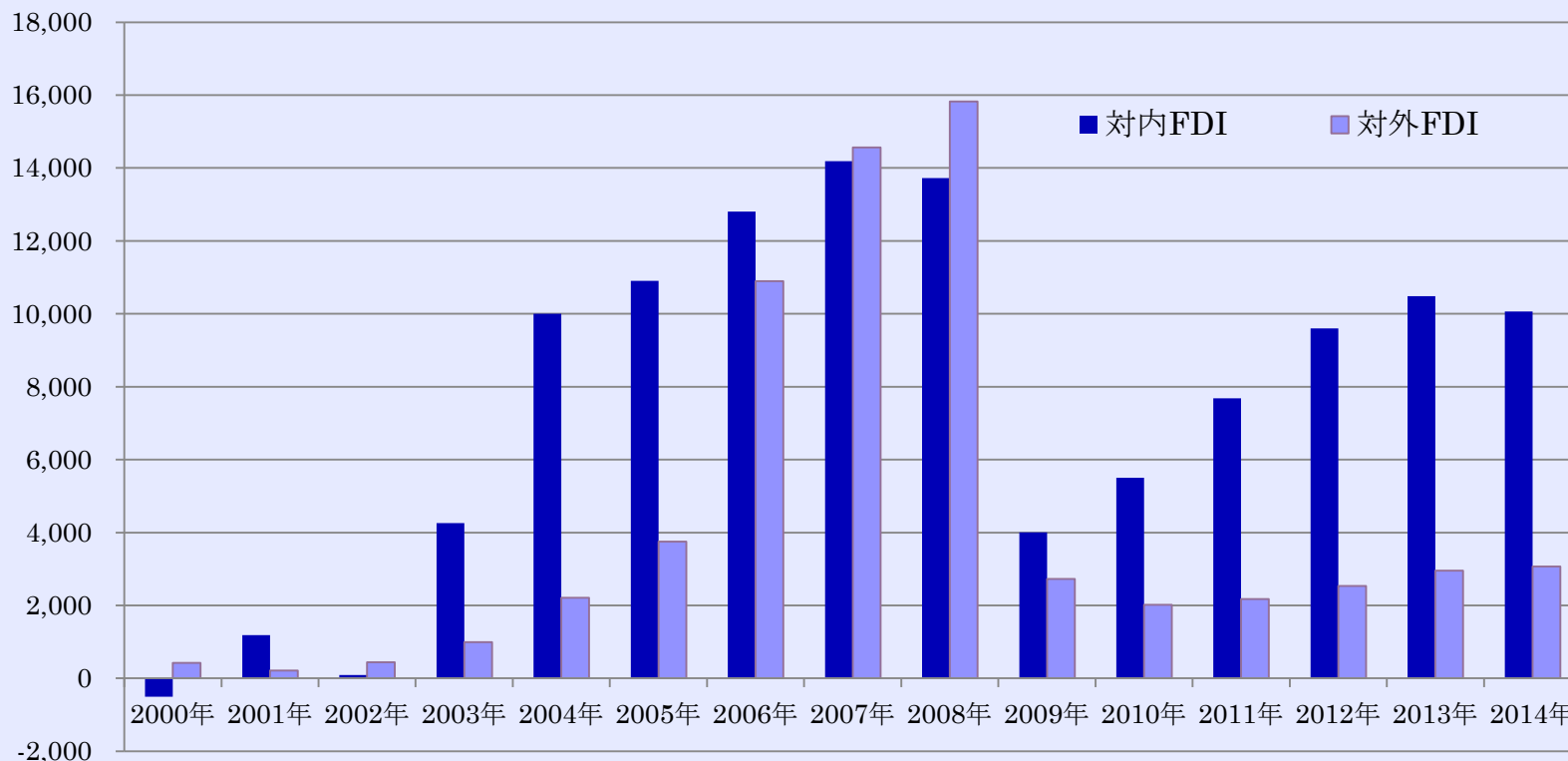
(注)輸出額はFOB、輸入額はCIF基準。

(出所) UNCTAD database より報告者作成。

## ②直接投資動向：UAE

■UAE向け対内FDIは主に、英国(対内FDIストック総額比13.2%)、インド(同5.8%)、フランス(同5.6%)、日本(同5.5%)、米国(同4.2%)から。不動産(同26.6%)、金融(同21.8%)、小売(21.5%)が主(2012年、UAE統計局資料)。

UAEの直接投資動向(フロー、単位：100万ドル)

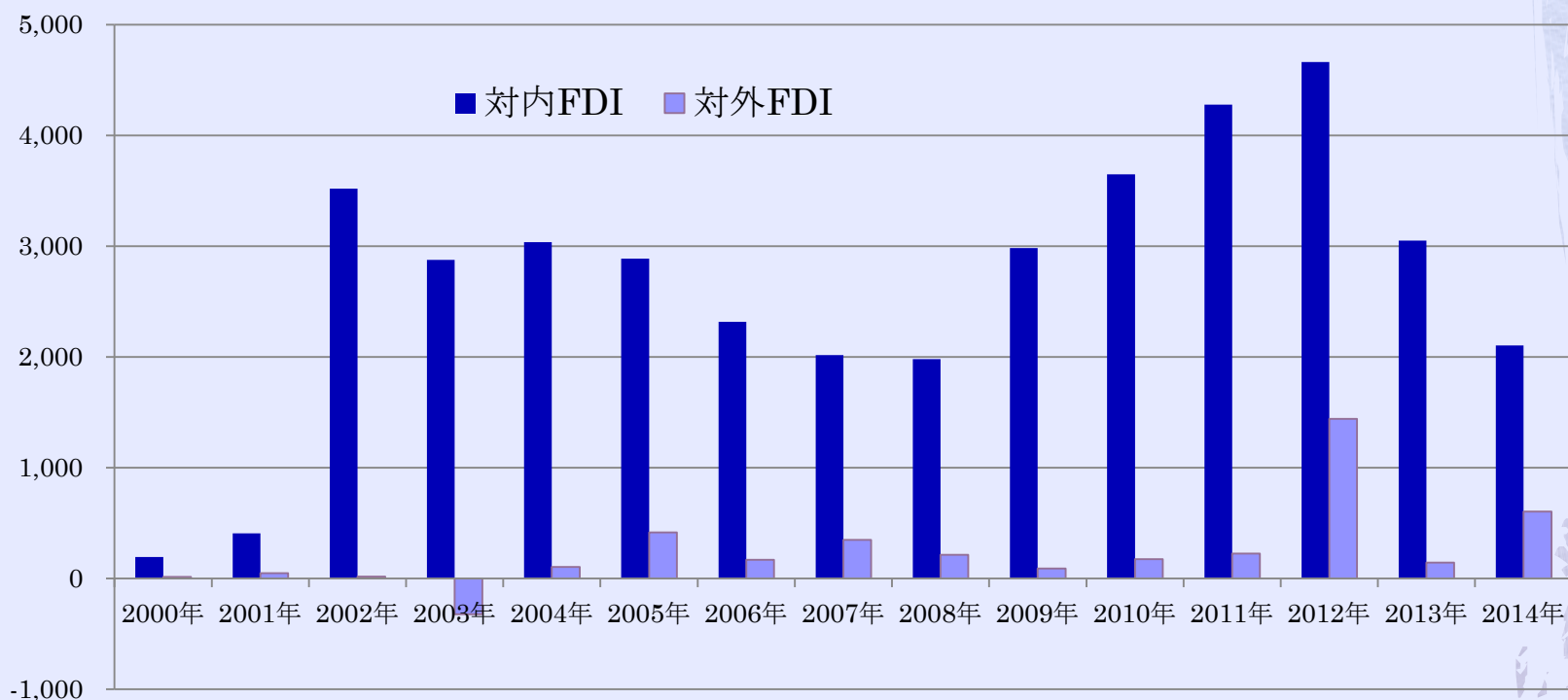


(出所) UNCTAD database より報告者作成。

## ②直接投資動向：イラン

- 2002年、イラン政府による外国投資奨励保護法以降、対内FDIが増加。
- 対内FDIは2013年以降減少、2014年に21億ドル。
- 400社以上の外国企業がイランへ直接投資。実数はUNCTADデータの倍？  
(2011年7月27日付、*Tehran Times*)

イランの直接投資動向(フロー、単位:100万ドル)



(出所) UNCTAD database より報告者作成。

## ②直接投資動向：イラン

### ■詳細な国別データは不明

- イラン向け直接投資の拠出国については不明確。約半分はEU？2012年のUNCTADデータによると、中国(20.7億ドル)、南アフリカ(5.5億ドル)、フランス(4.1億ドル)、オランダ(3.6億ドル)など(いずれもストック)。
- 欧州委員会のデータによると、2013年のEUからイラン向けのFDIは15億ユーロ(約21億ドル)の回収。

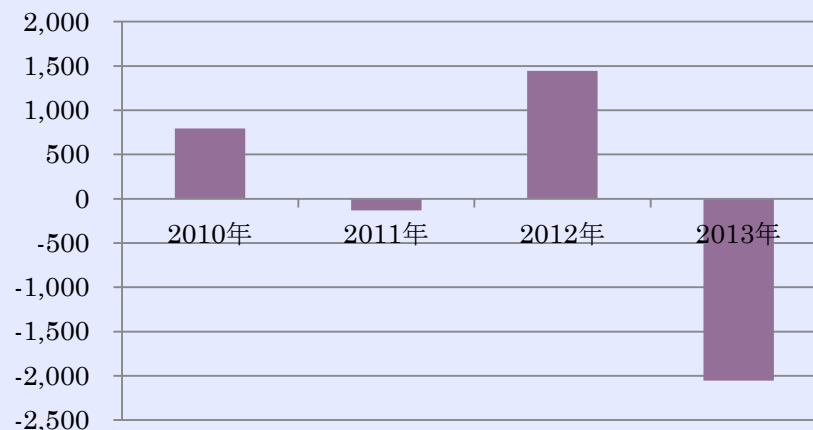
イラン向けFDI拠出国(ストック、単位：100万ドル)

	2011	2012
中国	1,352	2,070
デンマーク	87	194
フランス	320	409
ドイツ	804	..
イタリア	1,064	-
日本	7	7
オランダ	337	356
ノルウェー	105	3
南アフリカ	481	549
トルコ	223	224
その他	28,452	34,078
イラン向けFDIストック合計	33,230	37,891

(注)表中の国はデータが報告されており、かつ投資額が大きいもののみリストアップしている。他の国についてのデータは不明。

(出所)UNCTAD 資料より報告者作成

EUのイラン向けFDIフロー(単位：100万ドル)



(出所) European Commission 資料より報告者作成

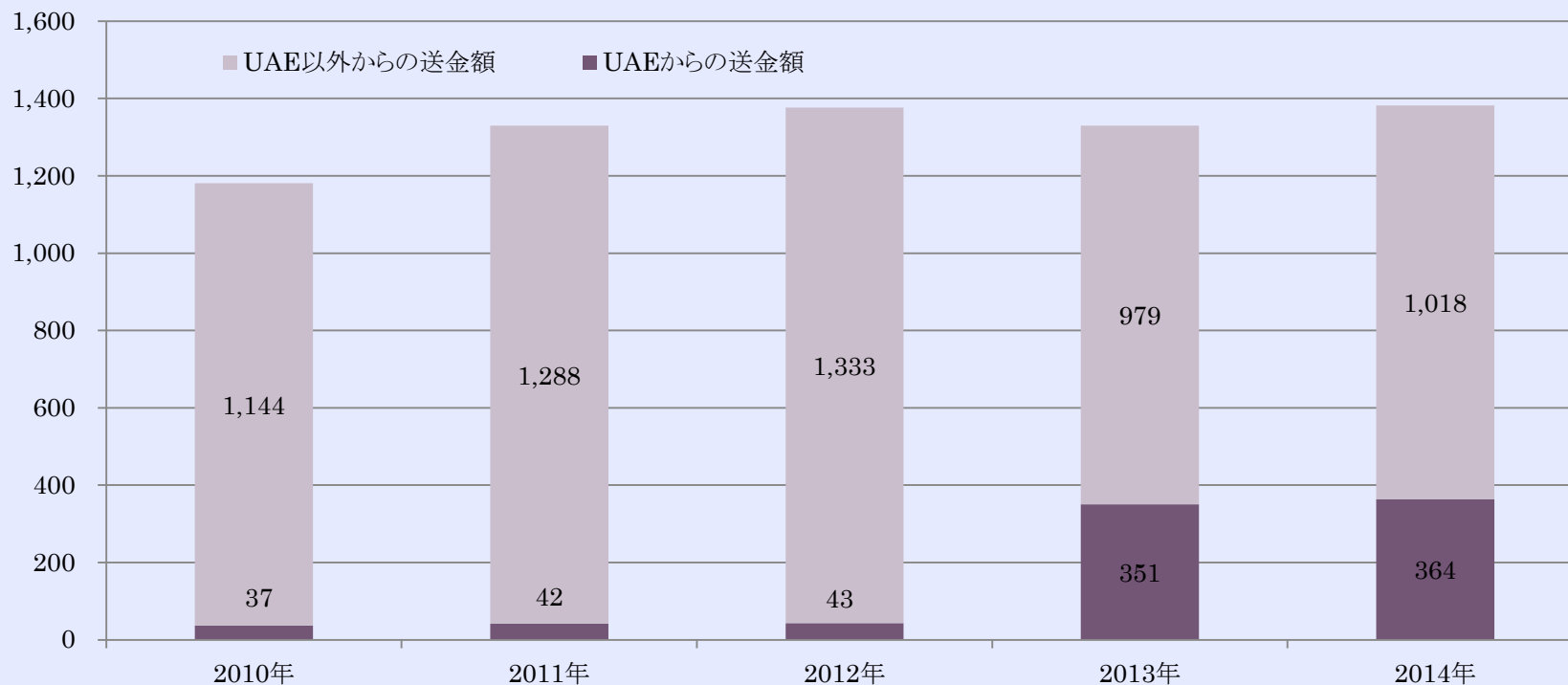
### ③労働者送金

■MENA地域でイランは労働者送金の主要受入国の一つ。

■イラン向け労働者送金に占めるUAEの割合の増加  
(2010年:3.1%→2014年:26.3%)。

■在UAE移民数も2010年の40.2万人から2013年の41.2万人に増加。

イラン向け労働者送金額の内訳(2010-2014年、単位:100万ドル)



(出所)World Bank、Bilateral Remittances Matrices より報告者作成。



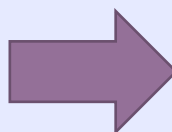
# UAEとの経済的リンクージの変化

- 対GDP比率で見たイランのUAEとのリンクージは、輸出・輸入・労働者送金で増加。
- 他のGCCと比較すると輸入と労働者送金に対する依存度が高いのが特徴。

## 対UAE経済リンクージ(2000年)

	UAEへの輸出	UAEからの輸入	UAEからの労働者送金	対内FDI
イラン	0.08	0.32	0.01	0.05
サウジ	0.44	0.31	0.00	0.10
クウェート	0.20	0.83	na	0.04
カタル	2.88	1.27	na	1.42
バハレーン	1.21	1.34	na	4.02
オマーン	4.48	7.85	0.00	0.44
インド	0.52	0.23	2.59	0.75

1%未満
1%以上5%未満
5%以上



## 対UAE経済リンクージ(2014年)

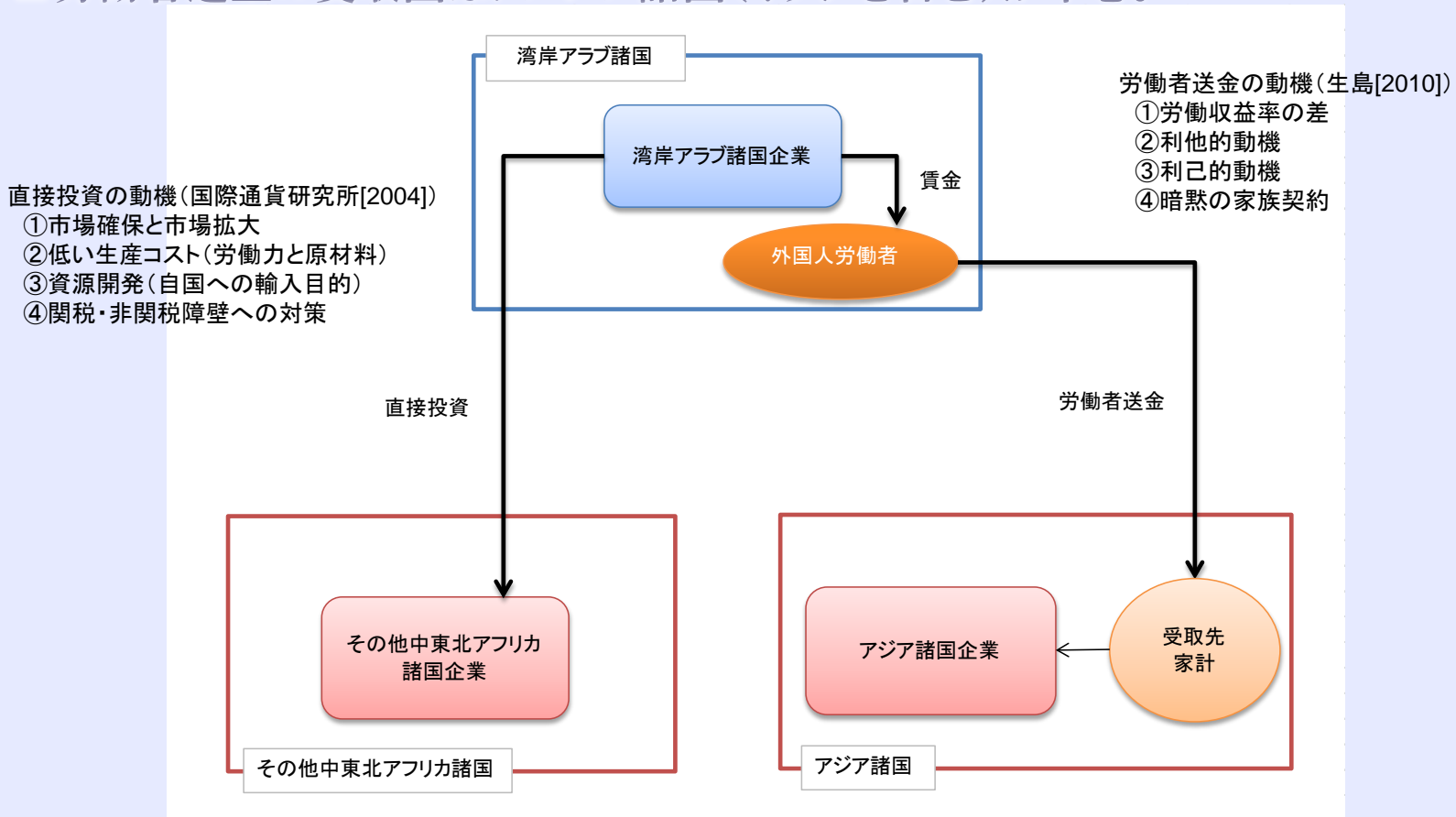
	UAEへの輸出	UAEからの輸入	UAEからの労働者送金	対内FDI
イラン	0.30	7.73	0.09	0.51
サウジ	0.60	0.50	0.00	1.07
クウェート	0.34	0.66	0.00	0.28
カタル	3.18	1.18	0.01	0.49
バハレーン	2.39	1.32	0.00	2.83
オマーン	7.02	12.23	na	1.52
インド	1.62	1.33	0.62	1.68

(注)輸出、輸入、労働者送金はUAEとの名目取引額が各国の名目GDPに占める比率を示した(%)。対内FDIについては、UAEからの流入額が不明であるため、全世界からのFDI流入額(フロー)が各国の名目GDPに占める比率を示した(%)。(出所)IMF, World Economic Outlook Database、Direction of Trade by Country、 UNCTAD databaseより報告者作成。

### 3.UAE企業部門の対応

## 湾岸アラブ諸国企業を中心とした国際資金移動の概念図

- 湾岸アラブ諸国企業から直接投資と労働者送金を介した国際資金移動。
- 直接投資の主な受取国は、その他中東北アフリカ諸国。
- 労働者送金の受取国は、アジア諸国(イランを含む)が中心。



(出所)報告者作成。

# UAE企業の対イランビジネス事例(2014年以降)

2014年3月 UAE企業団によるテヘラン訪問。

- UAE商工会議所主催で石油、ガス、銀行、食品、自動車製造、投資会社を引率。
- 両国間で今後も経済協力。

2015年2月 Air Arabia社(シャルジャ)、シャルジャからイラン4都市への就航計画。

- 2014年12月のUAE=イラン間でビザ要件の緩和発表を受けて。

2015年8月 RAK Ceramics社(ラスアルハイマー)、RAK Iranの20%株式を取得、完全子会社化。

- 2003年に世銀の融資を受けて、イラン事業を展開。
- 制裁解除を見据え、完全子会社化によりイラン市場と中央アジア市場向けの生産拠点強化。

2015年10月 石油ガス会社Synergy社(ドバイ)が、イラン新規事業に言及。

- 制裁前の状態回復を目的。

## 4. おわりに：考察と今後の展望

■ 開発金融の視点から：将来のUAEとイランの経済関係変化の諸要因。

### (1) 貿易関係変化の要因

- ✓ 生産技術の変化
- ✓ 生産要素の賦存比率の変化

### (2) UAEからイランへの直接投資促進の要因

- ✓ イラン市場とイラン周辺市場
- ✓ イランの労働力と原材料・・・資源開発
- ✓ UAEへの輸出・・・農業案件？
- ✓ 両国の関税政策

### (3) イラン向け労働者送金増加の要因

- ✓ 外国人労働者市場としてのUAEの将来。
- ✓ イランの家族構成の変化
- ✓ 賃金上昇後の変化

ご清聴ありがとうございました。



## 参考文献

- ◆ Al-Blooshi, Khaled S. [2013] "Abu Dhabi during the era of Zayed The First," Makarem.
- ◆ Al-Fahim, Mohammed [2008] "From Rags to Riches – A Story of Abu Dhabi," CreateSpace Independent Publishing Platform.
- ◆ 坂梨祥 [2008] 「イランとドバイ」『中東協力センターニュース』2008・/8/9.
- ◆ 立山良司 [2015] 「イラン核合意と中東の地域秩序」『CISTEC Journal』No.159.
- ◆ 寺中純子 [2011] 「イラン: 制裁の効果と今後の展開」『JOI』2011.3.
- ◆ 水田正史 [2006] 『近代イラン金融史研究』ミネルヴァ書房.

# 【参考資料】最近のイラン経済制裁の概要 (2006年-2015年9月)

日時	内容
2006年以降	国連安全保障理事会(安保理)、対イラン制裁発動。
2010年6月	国連安保理、第4次対イラン制裁決議(1929号)を採択。
2011年12月	米国、対イラン追加制裁決定。ドル取引を禁止する金融制裁。
2012年1月	経済制裁:イラン産原油のEU域内への輸入禁止、国際銀行間通信協会(SWIFT)によるイラン金融機関へのサービス停止、EUによるイラン産原油を輸送する船舶への保険サービス停止。
2013年8月	ロウハーニー政権誕生以降、P5+1とイラン間で核協議が再開。
2013年11月24日	P5+1(国連常任理事国+ドイツ)とイラン、核問題が暫定合意(ジュネーブ共同行動計画;JPOA)。
2014年1月20日	JPOAが、EUと米国により実施。限定的な制裁一部解除は、「Implementation Day(実施日)」まで引き続き継続。
2015年5月	米国、2015年イラン核合意検討法(2015 Iran Nuclear Agreement Review Act)発効。
2015年7月14日	P5+1とイラン、核開発プログラムに関する「共同包括行動計画(Joint Comprehensive Plan of Action;JCPOA)」について合意。

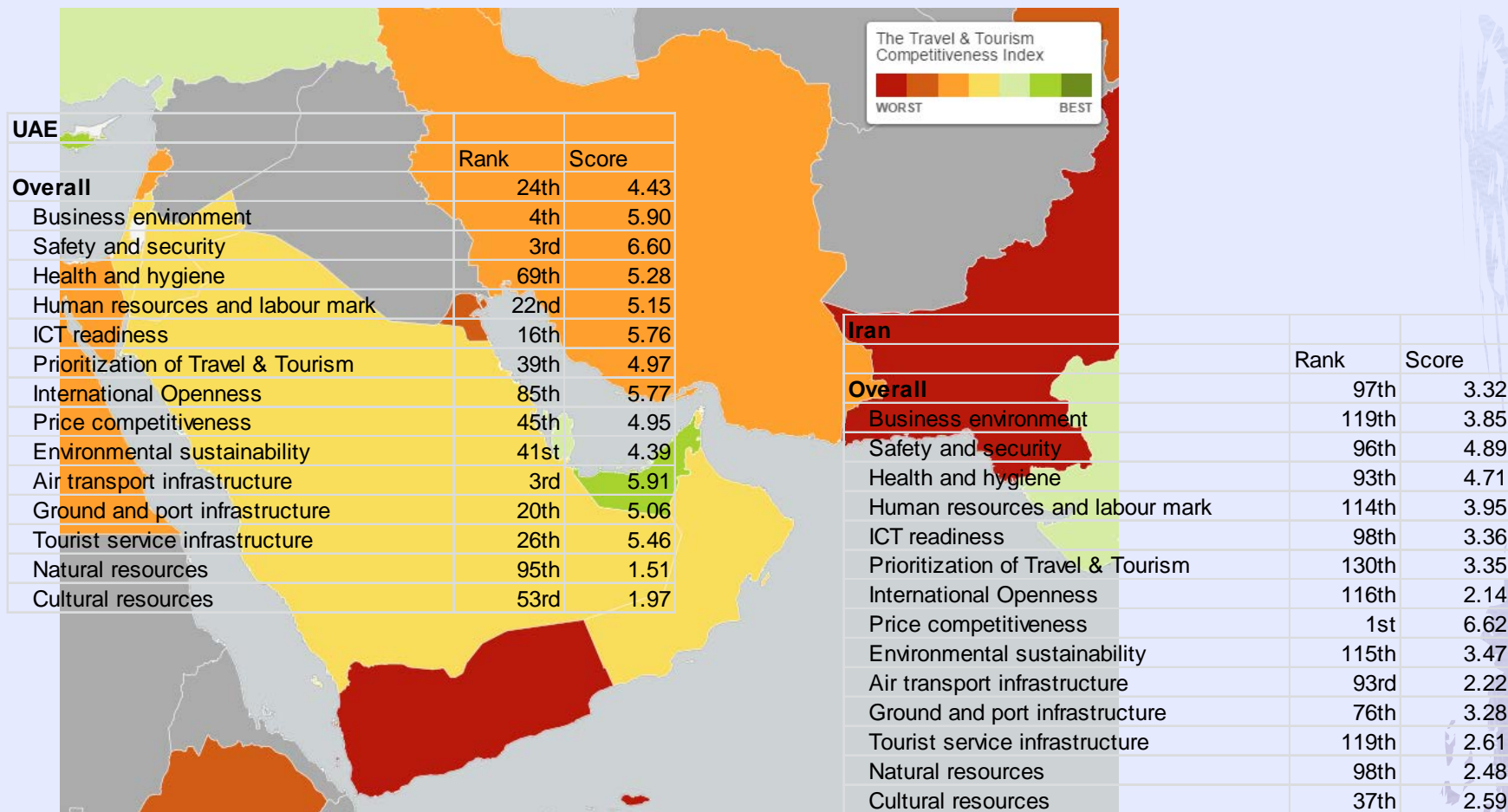
(出所)寺中[2011]をもとに報告者作成

# 【参考資料】最近のイラン経済制裁の概要 (2015年10月以降)

日時	内容
2015年10月18日以前？	「発効日 (Adoption Day)」。この日から、P5+1/E3+3 諸国はJCPOA 実施の準備開始。
「発効日」から6～10カ月後？	「実施日 (Implementation Day)」:IAEAによって JCPOA が要求する措置をイランが実施したことを確認した後、米国・EUの制裁の軽減・解除。
「発効日」から8年後？	「移行日 (Transition Day)」:核拡散に対する制裁を定めるEU規則のうち「実施日」に解除されなかった制裁をすべて解除。米国の対イラン「二次的制裁」をすべて解除。
「発効日」から10年後	「満了日 (Termination Day)」:「発効日」から 10 年後、国連安保理による制限が解除。EUの制裁はすべて解除。

(出所)“Joint Comprehensive Plan of Action”、立山[2015]より報告者作成。

# 【参考資料】別の視点1:イランの観光資源



(出所) World Economic Forum, Travel and Tourism Competitiveness Report 2015 より報告者作成

## 【参考資料】別の視点2：医療観光

■UAEは一人当たり国民総所得の高さの割に、健康面の成果（平均寿命、死亡率）で突出して高くはない。

■イラン市場の将来性：イランの健康向け支出の大きさ。

	人口	一人当たりGNI	平均寿命 (男性/女性)	15-60歳の死亡確率 (男性/女性)	一人当たり健康向け総支出額	GDPに占める健康向け総支出
	1000人	購買力平価 (ドル)	年	1000人当たり	ドル	%
UAE	9,346	58,090	76/78	84/59	2,233	3.2
バハレーン	1,332	36,140	76/78	70/54	1,900	4.9
クウェート	3,369	88,170	78/79	59/42	2,375	2.9
オマーン	3,632	52,170	74/79	116/73	796	2.6
カタール	2,169	123,860	79/80	72/50	2,882	2.2
サウジアラビア	28,829	53,780	74/78	89/67	1,681	3.2
イラン	77,447	15,600	72/76	153/83	1,414	6.7

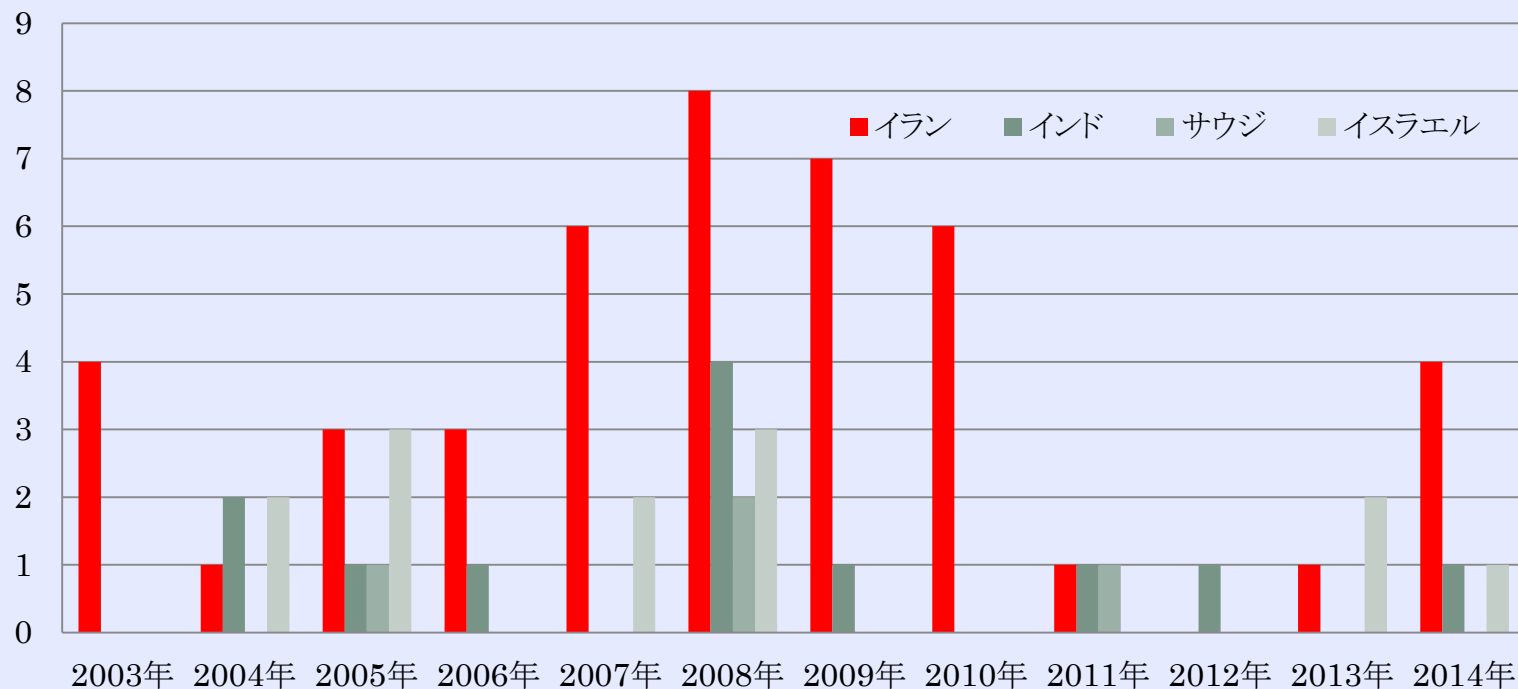
(出所)WHO Countries statisticsより報告者作成



## 【参考資料】別の視点3:UAEにおけるイラン研究動向

■ UAE国内研究機関でもイランへの研究関心は高い。

エミレーツ戦略研究調査研究所 (ECSSR) の研究書の主要対象国別出版数  
(2003-2014年)



(出所) ECSSR発行Publication Listより報告者作成



(出所)「白地図専門店  
( <http://www.freemap.jp/> )」より報告者作成